2027年6月期(第21期) 第1四半期
決算説明資料

あい ホールディングス株式会社
証券コード：3076

AiHDG

2027年6月期(第21期) 第1四半期連結実績

営業利益は第1四半期ベースで過去最高益！
売上高営業利益率＋15.7%（←前期＋10.1%）に上昇

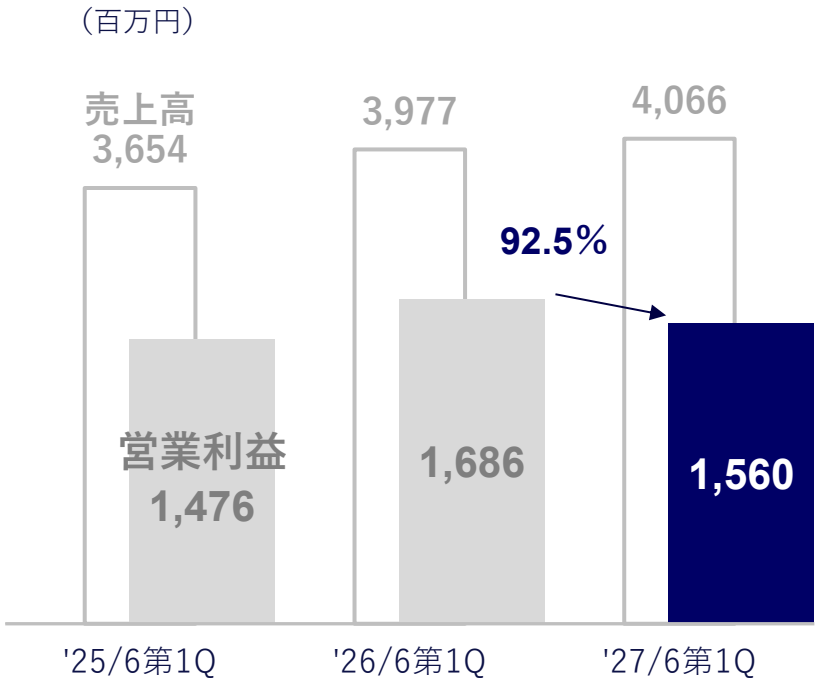
（百万円）	’26/6 第1Q	’27/6 第1Q	前年同期比
売上高	20,270	**20,876**	103.0%
営業利益	2,039	**3,280**	160.9%
経常利益	2,279	**3,417**	149.9%
純利益	4,109	**3,462**	84.3%

※前期は、固定資産売却益38.1億円を計上

主要事業会社と事業内容

㈱ドッドウエル　ビー・エム・エス	セキュリティ機器
	カード機器・鉄骨CADシステム
グラフテック㈱	カッティングマシン（情報機器）
グラフテック岩通計測㈱	計測機器
岩崎通信機㈱	ビジネスホン（情報通信）
㈱ナカヨ	
株式会社あい設計	総合設計、構造設計、耐震診断
株式会社アイグリーズ	脱炭素システム

セキュリティ機器事業



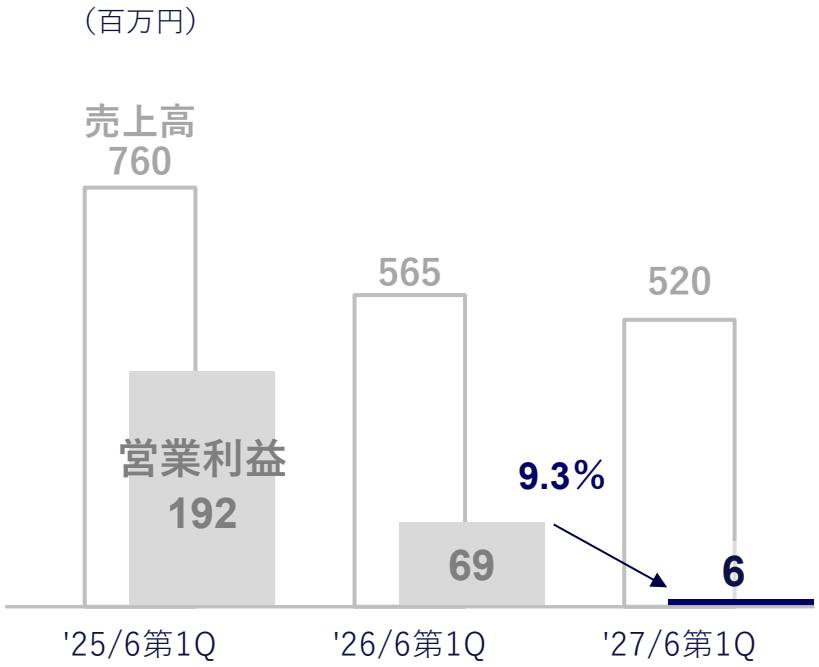
概況

・売上高は4年連続（前年同期比102.2%）増加。コスト上昇分の価格転嫁が遅れ減益。

・マンション向けは、導入件数計画比100.9%で上振れ。分譲の新規、リプレースが堅調。

・一般法人向けは、工場や金融機関の新規案件に加え、幅広く増設ニーズを取り込む。

カード機器及びその他事務用機器事業

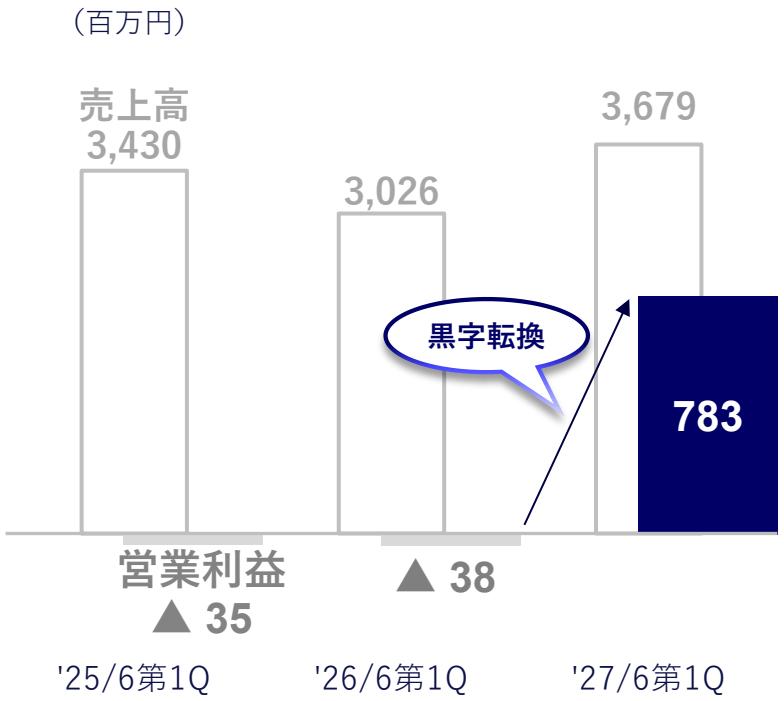


概況

・カード機器事業は、病院の設備投資意欲は、回復傾向。
自社開発した再来受付機と自動精算機の販売に注力中。
金融機関向けは、第2四半期に地域金融機関からの即時カード発行機の受注あり。

・鉄骨CAD事業は、主力新製品「AiCad-sf」の開発に遅れが発生したため、
第2四半期より本格販売をスタートし巻き返しを図る。

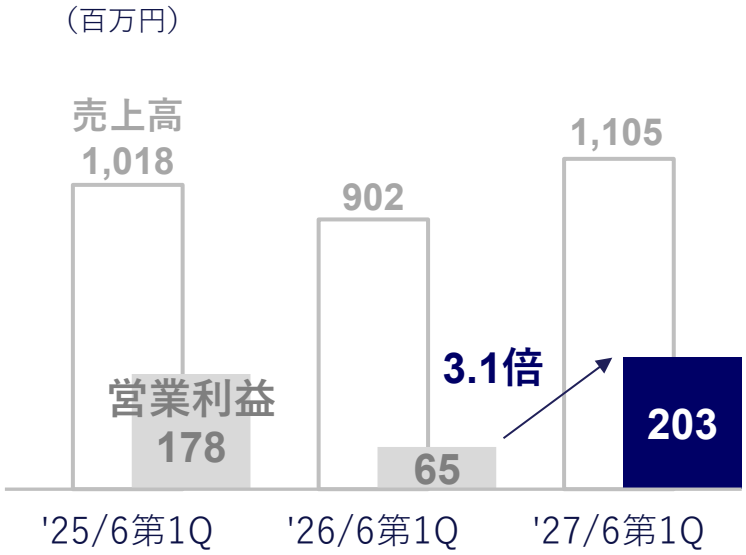
カッティングマシン（情報機器）事業



概況

- 業務用カッティングマシン売上高は1,754百万円（前年同期比118.5%）北米が好調。
  売上高対前年同期比：米国122%、欧州103%、アジア99%
- 個人向けカッティングマシン売上高は1,925百万円（前年同期比124.6%）底這いから
  復調へ。売上高対前年同期比：米国135%、欧州112%、アジア99%
- 7月に米国関税の還付金を受領した影響で上振れ。

計測機器事業



概況

・EV市場は停滞しているが、パワーエレクトロニクス関連でデータセンター向けの受注が好調。
製品「データロガー」が半導体からインフラ関連等幅広い市場からの引き合いにより堅調。

・「グラフテック岩通計測株式会社」が本格始動。新規取引販売店に対するクロスセル効果あり。

※'27/6第1四半期より電子部品販売を「その他」へ区分変更を行ったため、過去2期分につきましても、
変更後の区分に組み替えた数値を記載しております。

【関連リリース】

2025年12月15日　子会社の設立に関するお知らせ

ビジネスホン（情報通信）事業



概況

・コスト削減効果と利益率の高い商品販売で、減収増益。

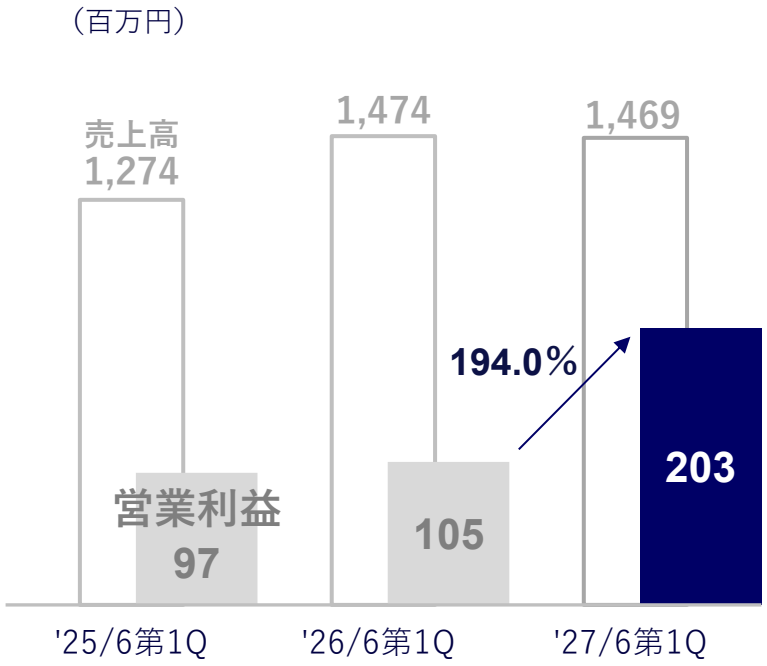
・売上高営業利益率＋5.2%（←＋2.3%）に上昇。
（内訳）
岩崎通信機：＋3.7%（←＋4.7%）
ナカヨ：　　＋6.0%（←＋1.0%）

・ナカヨ：温室効果ガス排出量削減目標のSBT（Science Based Targets）認証を取得。

※ナカヨHP
https://www.nyc.co.jp/release/2026_release/20260709_02.html

（単位：百万円）		'25/6第1Q	'26/6第1Q	'27/6第1Q	前年同期比
ビジネスホン（情報通信）					
岩崎通信機㈱	売上高	2,455	2,595	2,215	85.4%
	営業利益	▲250	121	83	68.6%
㈱ナカヨ	売上高	4,212	4,355	4,141	95.1%
	営業利益	▲146	44	248	563.6%

設計事業



概況

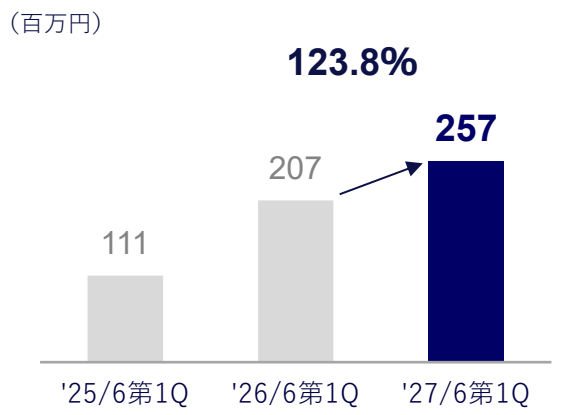
・官公庁向けで、建て替えの大型案件を獲得。構造設計を中心に大幅増益。

・売上高営業利益率は、前第1四半期＋7.1%　⇒　今期＋13.8%へ上昇。

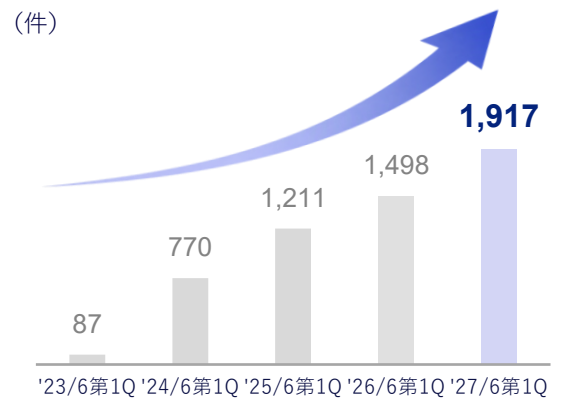
脱炭素システム事業

売上高前年同期比＋123.8% ・ 9月末クラウド稼働件数1,917件

売上高



クラウド稼働件数



概況

（国内）
・ロードサイド型店舗や工場・病院などからの受注納品が増加。
・9月末における今期正式予約受注額は約4億6千万円。今期12億円目標に対する進捗率38%。

（海外）
・タイ、ベトナムともに引き合い件数が着実に増加中。
・第1四半期海外売上高は18百万円　（内訳）タイ12百万円、ベトナム6百万円。

連結貸借対照表（2026年9月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部	2026年6月30日	2026年9月30日	負債の部	2026年6月30日	2026年9月30日
流動資産	90,935	89,770	流動負債	17,748	16,378
・現金及び預金	54,825	53,163	・支払手形及び買掛金	6,157	5,536
・受取手形、売掛金及び契約資産	16,092	16,134	・未払法人税等	3,308	2,610
・リース投資資産	252	228	・賞与引当金	557	1,381
・商品及び製品	11,051	10,600	・その他	7,725	6,849
・仕掛品	1,919	2,371	固定負債	10,021	8,607
・原材料及び貯蔵品	4,784	5,026	負債合計	27,769	24,986
・その他	2,009	2,245			
			純資産の部		
固定資産	54,738	52,318	株主資本	111,233	111,109
・有形固定資産	29,295	25,146	・自己株式	▲1,678	▲1,646
・無形固定資産	4,038	4,071	その他の包括利益累計額	6,418	5,721
・投資その他の資産	21,403	23,100	純資産合計	117,904	117,102
資産合計	145,674	142,088	負債・純資産合計	145,674	142,088

B/S重視、堅実経営

・自己資本比率：82.2%　・自己株式：3,255,167株

・年間配当：125円 → 140円（2027年6月期 予想）15円増配

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（アップデート）

【利益の最大化】

1．各事業の拡大と効率化 ⇒　ROE低下の原因は、M&A（岩崎通信機とナカヨを完全子会社化）によるもの。
ビジネスホン事業の売上高営業利益率は前期赤字から黒字へ転換し、さらに向上をさせていく。

2．事業ポートフォリオの定期的見直し ⇒　① 計測事業のグループ内統合「グラフテック岩通計測株式会社」
② カッティングマシン事業の子会社を再編

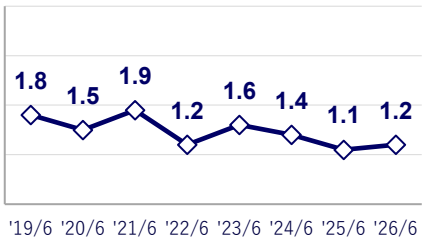
【株主還元】DOE6%と配当性向50%のいずれか大きい金額 ⇒ 6年連続増配予定（今期予想配当140円）

【株主・投資家への対応、対話・エンゲージメント】

決算説明会 年2回開催／1on1ミーティング 年間170件実施（2025年7月～2026年6月）

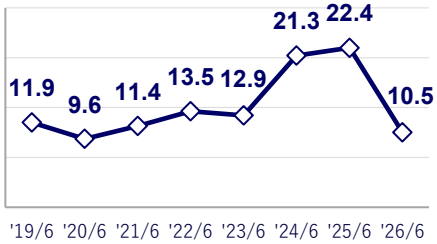
株式市場からの総合評価		過去の収益性		将来の成長性

（倍）



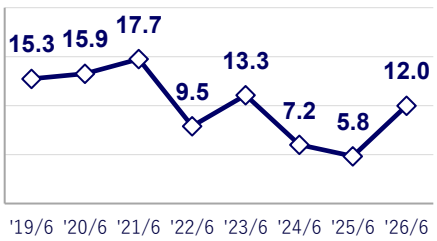
＝

（%）



×

（%）



（2026年6月末時点）

EPS（１株当たり純利益）：224円（前年比 55.2%）
BPS（１株当たり純資産）：2,208円（前年比 105.1%）
株価　2,680円（2026年6月30日終値）

ご留意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料の内容に関し如何なる保証もするものではありません。
記載されている情報は掲載した時点での情報であり、記載時点以降に変更される場合がありますことを予めご承知置き願います。
また、本資料の著作権は全て当社に帰属し、著作権法に定める私的利用の範囲を超えて無断で複写・転載等することを禁じます。

IRに関するお問い合わせ先

あい ホールディングス株式会社　経営管理部 広報室
TEL　　：03-3249-6335
E-mail　：ir-contact@aiholdings.co.jp
お問い合わせページ　：https://www.aiholdings.co.jp/site_info/contact